

◎指標を設定することができない場合の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法（データの出典含む）

--

4 中間評価

(1) 必要性（現状の課題に照らした妥当性）

判定	a	理由	当県は急激な少子高齢化の課題を抱える中で、安全で安心な社会の実現を目指すため、地域住民や関係機関・団体等と連携・協働し、情報発信や要望把握活動、自主防犯活動の支援など、地域安全ネットワークを活性化させる必要性は高いと認められる。
----	---	----	--

（判定基準） a：必要性が高い b：一定の必要性がある c：必要性が低い

(2) 有効性（事業目標の達成状況）

※指標設定ができない場合「b」判定以下とする。

※二つの指標を設定し、達成率100.0%未満の指標がある場合は、達成率の平均値により判定する。

判定	b	理由	地域安全ネットワークを通じた各種活動は、地域住民や関係機関等と連携して実施するものであり、県民の防犯意識の向上と個人的防御力の強化につながることから、安全で安心な社会の実現を図る上で有効性が認められる。
----	---	----	---

（判定基準） a：有効性が高い（達成率が100.0%以上） b：一定の有効性がある（a、c以外の場合） c：有効性が低い（達成率が80.0%未満）

(3) 効率性（限られた予算で効果を発揮するために努力した内容）

判定	a	理由	地域住民が安全・安心に暮らすことのできる地域社会を実現するため、防犯ポスターやリーフレット、地域安全メールなどを活用して地域安全情報を発信しているほか、警察官が地域住民の自主的な活動と連携し、各種会合で防犯講話を行うことで地域住民の自主防犯意識を向上させ、規範意識の高揚につなげており、効率性が認められる。
----	---	----	---

（判定基準） a：効率性が高い b：一定の効率性がある c：効率性が低い

(4) 総合評価

判定	B
前回結果	B

【総合評価の判定基準】

「A」：「必要性」「有効性」「効率性」の観点全て「a」判定のもの

「B」：「A」「C」以外の判定のもの

「C」：「必要性」「有効性」「効率性」の観点全て「c」判定のもの

5 課題と今後の対応方針

(1) 事業推進上の課題

当県では、急激な少子高齢化の進展に伴い、地域のつながりに基づいた社会の犯罪抑止機能の低下が危惧されるほか、特殊詐欺等の犯罪が巧妙化、多様化していることから、県民に対する規範意識の向上を図る上で、より一層の地域安全ネットワークの活性化が必要であり、継続して活動を展開していく。

(2) 今後の対応方針

安全で安心な社会の実現を目指すため、地域住民や関係機関・団体等と連携・協働し、情報発信や要望把握活動、自主防犯活動の支援など、継続して地域安全ネットワークの活性化に向けた各種活動を推進する。

6 事後評価

(1) 有効性（事業目標の達成状況）

※指標設定ができない場合「b」判定以下とする。

※二つの指標を設定し、達成率100.0%未満の指標がある場合は、達成率の平均値により判定する。

判定	理由

（判定基準） a：有効性が高い（達成率が100.0%以上） b：一定の有効性がある（a、c以外の場合） c：有効性が低い（達成率が80.0%未満）

(2) 効率性（限られた予算で効果を発揮するために努力した内容）

判定	理由

（判定基準） a：効率性が高い b：一定の効率性がある c：効率性が低い

(3) 総合評価

判定

【総合評価の判定基準】

「A」：「必要性」「有効性」「効率性」の観点全て「a」判定のもの

「B」：「A」「C」以外の判定のもの

「C」：「必要性」「有効性」「効率性」の観点全て「c」判定のもの

7 類似事業の企画立案に当たっての課題

--